(別紙) 共通講習「医療倫理・医療安全・感染対策」内容(例示)

1. 医療倫理

(1) 臨床倫理

- ・医療倫理の基本原則、法と倫理
- ・医師・患者関係の倫理(インフォームドコンセント、同意能力、守秘義務)
- ・倫理上の臨床課題(終末期医療、出生をめぐる問題、臨床課題へのアプローチ法)
- ・医療資源配分

(2) 医学研究と倫理

- ・人を対象とする研究倫理の歴史と基本原則
- ・人を対象とする研究倫理に関する国内外の関連法規・ガイドライン
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
- ・研究倫理審査委員会、治験審査委員会の機能と役割
- ・先端的な医学・生命科学をめぐる倫理的課題
- ・公正な研究(Research Integrity)
- ・利益相反(COI:Conflict of Interest)
- ・個人情報保護法等

(3) 以上の医療倫理に関する項目と関連する事項

2. 医療安全

(1) 医療の質の評価と改善の方略

(2) EBM(Evidence-based Medicine)を含むベストプラクティスの実践

(3) 医療の経済性、効率性への配慮

(4) 医療に内在するリスクと安全な医療の提供

- ・スイスチーズモデル、ハインリッヒの法則、PDCA サイクル、危険予知トレーニング

(5) インシデント・アクシデント発生時の適切な対応

- ・現場対応、インシデント・アクシデントレポート

(6) エラーの要因とその防止

(7) 医薬品・医療機器関連有害事象と安全対策

(8) 公的補償制度(PMDAの医薬品副作用被害救済制度や各都道府県の制度)

(9) 以上の医療安全に関する項目と関連する事項

3. 感染対策

(1) 標準予防策(スタンダード・プレコーション)

(2) 感染経路の理解と経路別予防策

(3) 感染症発生時の適切な対応

(4) 耐性菌対策と抗菌薬の適正使用

(5) 新興・再興感染症への対応

(6) 以上の感染対策に関する項目と関連する事項